

## 連携先世界遺産：真言宗御室派総本山仁和寺

### 本科目が取り組んだ課題・改善事項

仁和寺の魅力・価値がグローバル・ローカルに高まり、新たな「ご縁」を生み出せる企画を実施する可能性を探る

#### ■ 受講生

林 真帆 (立命館大学・政策科学部・2回生)、出川 恵弥 (立命館大学・政策科学部・3回生)  
 大久保 快 (立命館大学・経営学部・2回生)、朝熊 玲名 (立命館大学・経営学部・4回生)  
 佐々木 千壽 (立命館大学・経営学部・4回生)、児玉 邦宏 (立命館大学・産業社会学部・1回生)  
 丸山 悠帆 (立命館大学・産業社会学部・1回生)、宮井 裕生 (立命館大学・産業社会学部・1回生)  
 梅本 将司 (立命館大学・国際関係学部・4回生)、田中 みちる (立命館大学・政策科学部・4回生)  
 北田 昂大 (立命館大学・理工学部・2回生)

#### ■ 担当教員

桜井 政成 (立命館大学・政策科学部・教授)

### 活動目的・概要

本授業の目的は、地域活性化の一手法である「Asset-Based Community Development (アセット・ベースド・コミュニティ・ディベロップメント) (ABCD) を活用し、仁和寺の魅力・価値がグローバル・ローカルに高まり、新たな「ご縁」を生み出せる企画を実施する可能性を探ることです。

「ABCD」とは、地域に存在する資源をもとに地域を活性化し発展させることで、ここでの「資源」とは、その地域に存在する文化財や自然・景観などはもちろんのこと、その地域に存在する学校や病院や企業、また多様な地域住民や住民間のつながりなど、あらゆるもの地域活性・発展のためのものを「資源」ととらえます。

授業では、学生が1,100年以上の歴史を持つ仁和寺の「強み」を理解し、また、周辺に存在する学校や宿泊施設、店舗、交通機関等の地域資源を理解することで、新たな企画の提案を考えていきました。さらには、そのアイデアに基づいた試験的な取り組みを実現することも目指しました。



#### ◆ 主な活動 (授業や自主活動も含め、自由に記載してください。必要に応じてフォントサイズ等も調整してください。)

2015. 5. 22 全体オリエンテーション

2015. 8. 4@仁和寺

関係者からのオリエンテーション、ABCDアプローチの理解 (レクチャー)、今後の調査計画の立案。

2015. 9. 17~18@仁和寺

①インタビュー調査 (寺社関係者、観光客、仁和寺門前まちづくり協議会、龍安寺商店街組合、御室児童館等)

②調査のまとめ

2015. 9. 19 @キャンパスプラザ

調査のまとめ～企画の検討

2015. 10. 15 仁和寺関係者へ企画内容プレゼン

2015. 10月~12月 企画準備

2015. 12. 11 企画の実施

2015. 12. 11 成果発表

## 活動の成果

### 12/11企画の内容

#### 【立命館大学×仁和寺Book Cafe】

...仁和寺をBook & Cafeのように本を読みながらコーヒーなどを飲める空間として観光客を集める。ターゲットは金閣・龍安寺、また嵐山への観光客で、仁和寺を休憩所のように使用してもらおう。仁和寺の敷地内は広大なスペースがあり雄大な景色が広がる。観光客にその中で落ち着いて雰囲気浸ってもらいたいというのが本企画の目的である。またそうした環境を宣伝してもらうために、Facebook、インスタグラム等のSNSへの投稿も促す。

#### 【仁和寺まちライブラリー】

...まちライブラリーとは、本を通じて人々が知り合い、コミュニティをつくる取り組みである。その本を集める「植本祭」を仁和寺で行う。来場者植本者にはメッセージを記入してもらいエピソードを聴きだす。その本のエピソードを記した物を、上記のブックカフェで本の寄付を行う。

#### 【立命館大学 仁和寺観光大使】

...ミス立命館を複数名お呼びし、地域のレンタル着物屋さんで着物に着付けし、仁和寺境内を散策。有料拝観を案内、写真撮影、BOOKCAFE体験、写経体験等を行い、それをSNS（ツイッター、Facebook、Instagram等）を使って、仁和寺の魅力を若者向けに発信する。

#### 【仁和寺クイズラリー】

...仁和寺を舞台としたクイズラリーを実施。仁和寺境内の様々なスポットの一部を撮影した写真が、印刷されたマップを元にそのスポットがどこにあるのかを、境内を散策しながら探してもらおう。全問正解の人には景品を進呈。



## 活動を振り返って

(授業が終わっておらず振り返りが難しいため、昨年度を受講学生のレポートを引用します)

「今まで地域社会を見るときに、問題や課題ばかりを見つけてそれをどのように解決するかという視点しか持っていなかった。しかし、ABCDアプローチで、問題を探すのではなく、資源を見つけそれらのマッチングし今までにない物をつくるという新たな地域活性化の視点を身に着けることが出来たのではないかと思う。」

「外国人観光客に興味がありこの授業を受講したのであるが、まず外国人観光客と言っても多種多様であるということに気付かされた。国籍によって興味は違い、京都に来ている回数によっても体験したい内容は違ってくるのがわかった。また、観光客が増えるのは嬉しいことであるが、増えすぎてしまうのもどうかという声もあった。京都にある他の有名なお寺とは違った静寂さも仁和寺の魅力であり、集客と「仁和寺らしさ」のバランスをどう取るかということが難しいと感じた。」

「時間的な余裕の無さや学生間での連携の不備によって、多くの方々にご迷惑をおかけしたことは大いに反省しなければならない点である。ただその中でも企画を行うことができたのは、何より複数回のインタビューや打ち合わせ、当日のプログラム実施に際し多大なご協力をいただいた仁和寺関係者の皆様のお力添えがあったからこそであった。この「ご縁」を大切にしながら、本講義で学んだ地域づくりの在り方を今後の研究にも活かしていきたい。」

## 担当教員からのコメント

大学は偏ってしまいましたが、学部・回生はばらけたので、多様な学生が集う授業になりました。調査し、企画を立てるにあたっては授業外のミーティングが複数回必要でしたが、キャンパスも異なることもあり、全体で集まることは不可能でした。キャンパス毎や、企画毎に打ち合わせを重ね、イベント当日に至りました。

短期間で企画を自分たちで実施するというのはいささかハードルが高い取り組みであります。これまで2年間行ってくる中で、仁和寺関係者、地域の方々におかれましては、学生の学びへの理解を賜り、助けられてきて、現在にいたっております。築き上げてきた信頼感を損ねることなく、しかし学生ならではのフレッシュな視点を活かし今後も何らかの企画を実施していくためには、より授業の運営の工夫を工夫しなければならぬと痛感しています。

## 活動資料

※仁和寺の御室会館を会場に、「仁和寺門前まちづくり協議会」の方にヒアリングする様子。



※境内の観光客・仁和寺関係者・地域関係者にヒアリングし、KJ法の要領でまとめました。



※12/11企画の地域向けチラシ。

「仁和寺まちライブラリー植本祭」のお知らせ

**12/11(日)仁和寺での催し参加&**

**本のご寄贈のお願い**

みんなの本で仁和寺の「図書コーナー」をつくろう！

開催日時 2016年12月11日

10:30~12:30頃

場所 仁和寺境内 御室会館 地下会議室



～当日の予定～

①大学生からの企画説明

今回のイベントの主旨と至った経緯をご紹介します。

②本を通じた地域・仁和寺・大学生の交流

お持ちいただいた本を紹介しあい、楽しく交流します。

③本のご寄贈受付&仁和寺の方による境内案内

最後に境内の東屋で当日開催予定の「ブックカフェ」へご寄贈（貸出してもOK）いただき、その後、お寺の方から境内をご案内いただく予定です。

主催：立命館大学 桜井政成研究室

TEL: 072-665-2080 (学部事務室) / E-mail: masanari@sps.ritsume.ac.jp

協力：御室仁和寺、仁和寺門前まちづくり協議会

※ご参加難しい場合、本だけでも境内の東屋で16:00まで受け付けています。

※参加費無料（お茶あり。コーヒーご注文の場合、別途有料）

どんな本もOK!

観光客におすすめな本  
好きだった小説・絵本  
昔の本・ガイドブック